



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2019年 3月期 第2四半期

決算説明会

2018年11月8日

本日の内容

- 1 連結業績結果（2019年3月期中間期）
- 2 連結業績予想（2019年3月期通期）
- 3 事業別取組
- 4 中期経営計画の進捗

1 連結業績結果 ～2019年3月期中間期～

(億円、%)

	2018年3月期 (上期)	2019年3月期 (上期)	増減額	前期比	予想比
売上高	3,035	3,053	+18	100.6	99.1
営業利益	110	95	▲14	86.6	98.8
経常利益	117	102	▲15	87.0	102.5
純利益※	71	64	▲7	89.4	90.5

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- ▶ 前年同期比：増収減益
- ▶ 当初予想比：概ね当初予想通りの着地

1 連結業績結果 ～地震などの影響～

【 上期における影響 】

営業利益

約2億円の減

■ 販売機会の喪失など 約2億円

特別損失

約6億円

■ 原材料・仕掛品廃棄 約4億円

■ 設備復旧費用 約2億円

2 連結業績予想 ～2019年3月期通期～

(億円、%)

■ 経営成績 ■	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	5,961	6,050	+88	101.5
営業利益	193	190	▲3	98.1
経常利益	209	200	▲9	95.3
純利益※	133	135	+1	100.9

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.1%
------	-----	--------	-------

③ 事業別取組 ～2018年度重点取組～

収益基盤の複数化

キャッシュフローの最大化

チーズ・ヨーグルト等の販売拡大

プロダクトミックスの改善

価格改定・容量変更の実施

3 事業別取組 ～4つの事業分野～



1. 乳製品事業分野

バター、油脂、
チーズ（国内・海外）



2. 市乳事業分野

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、
果汁・野菜・清涼飲料、
デザート



3. ニュートリション事業分野

粉ミルク（国内・海外）、
機能性食品 など



4. 飼料・種苗事業分野

飼料、
種子（牧草・飼料作物・野菜）、
造園 など

3 事業別取組 ～乳製品事業分野～



2018年度上期業績結果

乳製品セグメント ※ニュートリション事業を含む

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	1,174	99.7	98.7	2,440	101.8
営業利益	53	95.0	105.3	119	98.1

- ▶ バター：安定供給の継続
- ▶ 油脂：トランス脂肪酸低減の取組み
- ▶ チーズ：価格改定及び容量変更の実施

③ 事業別取組 ～上期の実績・課題（チーズ）～



▶ 原料乳価格の引き上げ等のコストアップ対応

価格改定：	①プロセスチーズ群	35品（改定率：4.8～17.2%）
	②ナチュラルチーズ群	24品（改定率：4.3～6.4%）
容量変更：	ナチュラルチーズ	3品（変更率：-14.3%）



▶ 下期の取組み課題

■ 新価格帯の定着とさらなる需要喚起



③ 事業別取組 ～下期の取組（チーズ）～



▶ 需要喚起による販売拡大

新しい食べ方提案による
需要喚起

機能的価値を訴求した
店頭プロモーションの展開

スライス
チーズ
新CM



< 低糖質・高たんぱくプロモーション >

3 事業別の取組 ～市乳事業分野～



2018年度上期業績結果

飲料・デザート類セグメント

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	1,452	100.9	98.8	2,800	101.6
営業利益	22	64.0	79.4	49	102.9

- ▶ ヨーグルト：ガセリ菌S P株ヨーグルトの販売拡大
- ▶ デザート：新デザートライン（ルナ物産）の活用

③ 事業別の取組 ～上期の実績・課題（ヨーグルト）～



- ▶ 京都工場稼動に伴う機能性ヨーグルトの販売拡大
- ▶ ガセリ菌SP株ヨーグルトのトクホ化、
新商品発売により拡売

2018年3月

- ・ 京都工場新ライン増設
- ・ 個食タイプのトクホ化
- ・ ドリンクタイプの
ベリーミックス発売



新CM投入



2018年7月



個食タイプの
ベリーミックス
発売

上期実績

ガセリ菌SP株ヨーグルト
商品群



売上高前期比約1.3倍

③ 事業別の取組 ～下期の取組（ヨーグルト）～



▶ ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売拡大

ラインナップ強化による
ターゲットの拡大



ラインナップ強化

多様なコミュニケーションと
売り場での連動



連動

交通広告



売場

3 事業別の取組 ～下期の取組（デザート）～



▶ デザートの商品開発強化

- ・ 個食新商品の開発・生産の取組強化
- ・ 差別化された新ブランド投入

デザート

シェアNO.1 へ!

春 生産体制整備



ルナ物産外観

秋 差別化された 個食タイプの強化

● 新ブランド投入



チーズmeetsスイーツ
4種のチーズブレンド

● 既存シリーズ刷新



③ 事業別の取組 ～ニュートリション事業分野～



2018年度上期業績結果

ニュートリション事業

※乳製品セグメントのうち

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	97	101.4	91.5	220	113.2
(内訳)					
機能性食品	23	111.0	92.0	54	125.5
粉ミルク等	74	98.8	91.3	166	109.7

- ▶ 機能性食品：「毎日骨ケアMBP®」の販売拡大
- ▶ 粉ミルク等：母乳研究を軸とした独自性商品の販売強化

③ 事業別の取組 ～機能性食品（ニュートリション）～



▶ ベルネージュダイレクト株式の追加取得に向けた基本合意書の締結

Belle Neige Direct
ベルネージュダイレクト

【 基本合意の内容 】

■ ベルネージュダイレクト株式、6,648株の追加取得

＜議決権比率＞

	変更前	変更後
雪印メグミルク	33.4%	66.6%
千趣会	66.6%	33.4%

【 スケジュール 】 （予定）

2018年12月下旬 株式総数引受契約
株式譲渡契約書締結

2019年1月上旬 第三者割当増資による株式取得
株式譲渡による株式移転



3 事業別の取組 ～飼料・種苗事業分野～



2018年度上期業績結果

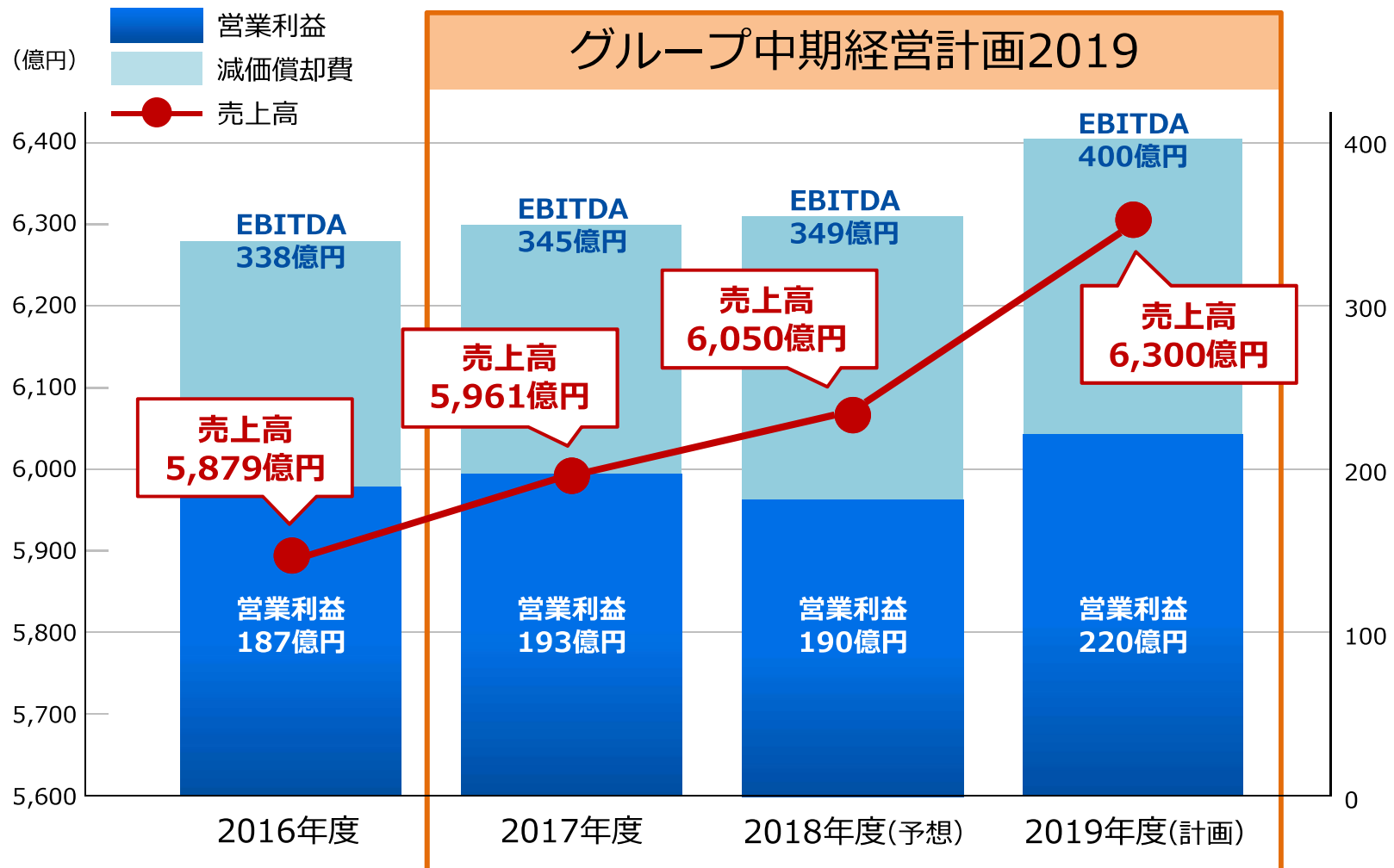
飼料・種苗セグメント

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	239	101.4	101.7	440	98.4
営業利益	12	89.6	110.5	10	74.0

- ▶ 種苗事業：新研究棟の活用による商品開発の継続的取組み
- ▶ 飼料事業：持続可能な酪農経営に貢献する総合提案型営業の推進

4 中期経営計画進捗



未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。